

近現代 22 現代と日本

STEP1 センター対策

NO196 政界の汚職事件 2012 本試

- I 米航空機の売り込みをめぐる収賄容疑により、前首相が逮捕された。
- II 昭和電工事件が発覚して、片山哲内閣から2代続いた3党連立内閣が倒れた。
- III 造船疑獄事件をめぐる首相への批判が高まり、戦後初の長期政権が崩壊した。

解答 II → III → I II. 昭和電工事件により芦田均内閣は総辞職。III. 造船疑獄事件は(第5次)吉田茂内閣(戦後初の長期政権より)のとき。I. ロッキード事件(米航空機の売り込みをめぐる収賄容疑)は三木武夫内閣(前首相は田中角栄)

NO197 日本の国際関係 2004 本試

次の文 I ~ III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下の①~④のうちから一つ選べ。

- I 日ソ共同宣言によってソ連との国交が正常化された。
- II 最初の先進国首脳会議(サミット)が開かれ、日本もこれに参加した。
- III IMF 8 条国に移行し、いっそうの貿易と資本の自由化を進めた。

① I—III—II ② II—I—III ③ III—I—II ④ III—II—I

解答 → I → III → II I. 日ソ共同宣言(1956)は鳩山一郎内閣の時。III. 高度経済成長の中で、IMF 8 条国に移行(1964)したのは池田勇人内閣の時。II. オイルショックによる世界的不況を背景にフランスでサミットが行われた。1975 年三木武夫内閣の時。

NO198 独立後の日本の国際関係 2013 本試

独立後の日本の国際関係について述べた文として誤っているものを、次の①~④のうちから一つ選べ。

- ① MSA 協定により、米国の援助と引換えに自衛力増強を義務づけられた。
- ② 為替の自由化を進めるため、国際通貨基金(IMF)8 条国に移行した。
- ③ 日本の貿易黒字が増大し、欧米諸国とのあいだで貿易摩擦が深刻化した。
- ④ 第4次中東戦争に際して、PKO 協力法にもとづき自衛隊の派遣を行った。

正答率がかなり低い問題の一つで、主に①②の誤答が多かった問題です。IMF については以下に参照しているように過去に出題されているので、過去問をやっていた受験生はできたはず。この問題では PKO 協力法は出題されています。なお、「1990 年代前半」の 55 年体制が崩壊した細川護熙内閣までは学習しておいた方がいいでしょう。今後も出題される可能性があります。山川出版『詳説日本史』、実教出版『日本史 B』でも「PKO 協力法」は本文中にあります。

NO199 サミット・沖縄返還・東京オリンピック 2012 追試 年代整序

古いものから年代順に正しく配列しなさい

- I 世界不況への対応を協議するため、先進国首脳会議(サミット)がはじめて開催された。
- II 沖縄返還協定が調印され、翌年の協定発効をもって沖縄の日本復帰が実現した。
- III 東京オリンピックの開会にあわせて、東海道新幹線が東京・新大阪間で開通した。

解答 → III → II → I III. 東京オリンピック(1964 年)・東海道新幹線の開通は 1960 年代半ば池田勇人内閣。II. 沖縄返還協定が締結(1971 年)は佐藤栄作内閣。I. オイルショックへの対応を協議する第1回のサミット(1975 年)は三木武夫内閣。

NO200 戦後の社会 2010 本試

古いものから年代順に正しく配列しなさい

- I 東海道新幹線の開通により、東京・大阪間の移動時間が大幅に短縮された。
- II 「列島改造」政策が打ち出され、東京・大阪と全国の地方都市とを結ぶ高速道路網の整備が提唱された。
- III テレビ放送が開始され、白黒テレビの販売が始まった。

解答 → III → I → II III. テレビ放送の開始は 1953 年。白黒テレビは「三種の神器」の一つで高度経済成長の前半に普及。I. 東海道新幹線は、東京オリンピックと同年(1964 年)で池田勇人内閣。高度経済成長のさなか。II. 「列島改造」政策は、高度経済成長が終わる田中角栄内閣。

NO201 高度経済成長後 2001 追試

古いものから年代順に正しく配列しなさい

- I 円の変動相場制への移行
- II 国鉄の分割・民営化
- III 第二次石油ショック

解答 I → III → II I. ドル=ショック(1971 年)の後、1973 年に変動相場制に移行した。第一次石油ショックと同年で田中角栄内閣のとき。III. 第二次石油ショック(1978 年)は大平正芳内閣のとき。II. 国鉄の分割民営化は中曽根康弘内閣のとき。

NO202 田中角栄 2002 本

田中角栄と田中角栄内閣に関して述べた文として誤っているものを次から一つ選べ。

- ① 田中角栄は、のちにロッキード事件により逮捕された。
- ② 田中角栄は「日本列島改造論」を唱え、公共事業を推進した。
- ③ 田中角栄内閣のとき、石油ショックが起き、狂乱物価にみまわれた。
- ④ 田中角栄内閣のとき、経済協力開発機構(OECD)に加盟した。

誤文 → ④

NO203 予想問題 学研野島

1960年代以降の内閣が総辞職した事情に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ この内閣は、沖縄の日本復帰実現を機に総辞職した。
- Ⅱ この内閣は、政治資金などをめぐる金脈問題を追及されて総辞職した。
- Ⅲ この内閣は、オリンピック東京大会を成功させて総辞職した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ
- ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ
- ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ
- ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ
- ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

正解→⑤

NO204 予想問題 学研野島

1955年から1973年にかけて、日本は高度経済成長と呼ばれる急激な経済発展を経験した。この高度経済成長期について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 産業構造の高度化が進捗し、日本経済に占める第一次産業の比重が低下した。
- ② 固定相場のもとでの実質的な円高効果もあって輸出が拡大し、貿易黒字が続いた。
- ③ 産業界再編の動きのなかで、政府公社などを中心に企業集団が形成された。
- ④ 経済成長の一方で、足尾鉍毒事件に代表されるような深刻な公害問題も起きた。

正解→①

NO205 予想問題 学研野島

5～6世紀の文化について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 百濟から渡来した五経博士によって儒教が伝えられた。
- ② ヤマト政権は渡来人を品部とよばれる技術者集団に編成して把握した。
- ③ 堅穴式石室が広がりを見せ、副葬品の性格も変化していった。
- ④ 群集墳とよばれる小古墳が数多く営まれるようになった。

誤文→③

NO206 予想問題 学研野島

江戸時代の実学に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a 関孝和が日本独自の数学である和算を大成した。

- b 本草学では、太宰春台が『大和本草』を著した。
- c 前野良沢らによって、西洋医学の解剖書が訳述された。
- d 農学では、大蔵永常が『農業全書』を著した。

- ① a・c
- ② a・d
- ③ b・c
- ④ b・d

正解→

問 60 正解は①

b 「太宰春台」は江戸時代中期の儒学者（古学派）で、荻生徂徠の弟子。『大和本草』は貝原益軒が著した。

d 『農業全書』は宮崎安貞の著作。江戸時代後期の農学者大蔵永常は、『農具便利論』『広益国産考』などを著した。

NO207 予想問題 学研野島

江戸時代初期の文化について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 俵屋宗達は、金色の地に濃厚な色彩で『唐獅子図屏風』を描いた。
- ② 酒井田柿右衛門は、上絵付による赤絵の技法を完成させた。
- ③ 桂離宮は、書院造に茶室様式をとり入れた数寄屋造の建物である。
- ④ 『舟橋蒔絵硯箱』は、洛北に拠点をかまえた本阿弥光悦の作品である。

誤文→①

NO208 予想問題 学研野島

守護とその成長について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 当初、守護は有力御家人から任命され、原則として国ごとに設置された。
- ② 承久の乱後、守護には新補率法が適用されるようになった。
- ③ 御成敗式目には、大犯三カ条などの守護の職務が規定されている。
- ④ のちに守護は、半済などの権限を得て、その存在感を強めていった。

誤文→

問 56 正解は②

② 「守護には新補率法が適用される」の部分が誤り。新補率法は、承久の乱後に新たに現地に派遣される地頭と荘園領主との間の紛争を避けるために定められた、地頭の給与についての規定。

NO209 予想問題 学研野島

修好通商条約調印後における幕末の国内情勢について述べた文として誤っているものを、

次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 貿易が始まると、生糸が大量に輸出されたため絹織物業が打撃をうけた。
- ② 貿易が始まると、安価で高品質な綿製品が大量に輸入されるようになった。
- ③ 日本と外国との金銀比価が異なっていたため、大量の金貨が国外に流出した。
- ④ 尊攘派は、条約が不平等であることを問題視して対等条約の締結を求めた。

誤文→

問 54 正解は④

④ 「条約が不平等であることを問題視して」の部分が誤り。

修好通商条約締結当時、条約の不平等性はほとんど知られていなかった。

日本で条約締結直後に政治問題化したのは違勅調印という条約締結の形式で、この問題が経済混乱とも結びついて攘夷運動を高揚させた。